

SCHOOL DATA

〒292-0825 木更津市畑沢1270
 TEL 0438-36-2820 FAX 0438-36-2830
 ■児童数/342人 ■教職員数/23人 ■周辺環境/住宅地 森林 (平成21年5月1日現在)



【森の広場で遊具を作り遊ぶ児童】



【竹炭づくりのようす】

ビオトープの概要

- 場所/学校敷地外
- 面積/1500㎡
- 設置者/わくわくの森ビオトープ整備実行委員会
- 設置した年/1999年
- 直近の改修年/2008年
- 主な管理者/わくわくの森ビオトープ整備実行委員会

【生息している動物】

シジュウカラ、コゲラ、キジバト、オニヤンマ、カワトンボ、ノシメトンボ、クロアゲハ、モンキアゲハ、ナミアゲハ、キアゲハ、カラスアゲハ、アオスジアゲハ、ジャコウアゲハ、ゴマダラチョウ、ムラサキシジミ、ミドリシジミ、カブトムシ、ノコギリカミキリ、アブラゼミ、ミンミンゼミ、ヒグラシ、ツクツクボウシ、ニイニイゼミ、ゴマダラカミキリ、タマムシ、ナナフシ等

【生育している植物】

ヤマグワ、マユミ、ミズキ、ムクノキ、アカガシ、スタジイ、ウワミズザクラ、エノキ、シロダモ、シラカシ、ヤブニッケイ、アズマネザサ、ドクダミ、ミツバ、ウマノミツバ、オオバコ、フジ、ニワトコ、ヒメワラビ、ヤマノイモ、シオデ、クサギ、ムラサキシキブ、タチツボスミレ、ハリギリ、フキ、カタバミ、エノキ、ヤブタバコ、ヘビイチゴ、ハエドクソウ、セイタカアワダチソウ、イヌトウバナ、エビネ、イワガネソウ、ホウチャクソウ、サルトリイバラ、アマチャヅル等

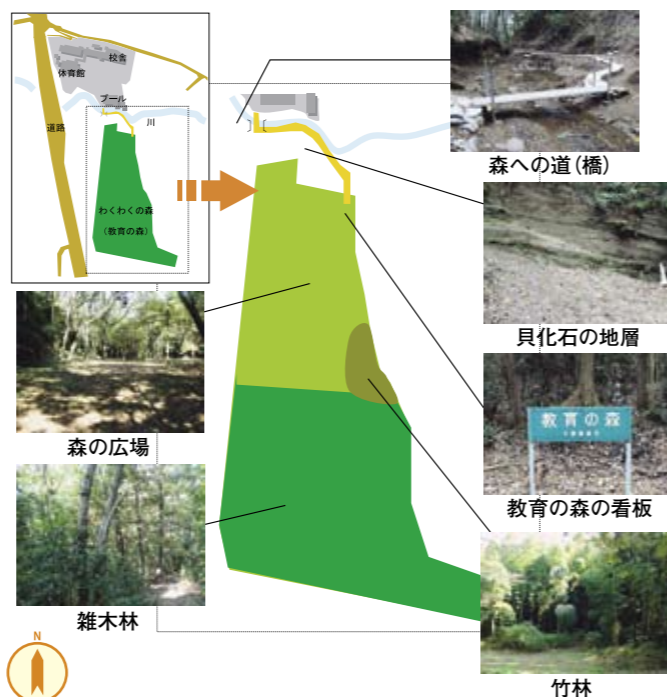
【今後生息・生育させたい生物】

川にメダカ、フナなどの魚類

【コンセプト】

学校の南側敷地に沿うように畑沢川が流れ、その畑沢川に隣接して「わくわくの森」(県指定「教育の森」)が広がっている。「わくわくの森」は、広さが1,500㎡あり、エノキなどの広葉樹が生育する「森の広場」、モウソウチクの「竹林」、旧「雑木林」からなっている。また、畑沢川には約30万年前の貝化石の地層が見られる。

この「わくわくの森」で四季折々の自然と触れ合う体験活動をさせることにより、自然環境の保全に対する意識を高めると共に、主体的な学習態度の育成や表現力の向上を図っていききたい。



【整備した木道と橋】



【地層にある貝化石観察会のようす】

ビオトープの活用方法

- ・総合的な学習の時間や理科・生活科等の授業で活用する。
- ・タケノコ掘り、タケノコ料理、森に生息する昆虫の観察、森に生息する野鳥の観察、森の樹木の観察、野草の観察、竹炭作り、森にある枯れ枝や落ち葉を使った図工作品作り等で活用する。
- ・児童集会を「わくわくの森」で実施する。(今年度は「開校百周年記念森の祭典」も開催予定)

ビオトープの効果

■児童への効果

- ・「わくわくの森」に生息する生物と生息環境を学習することにより、自然の仕組みなどについての理解が深まり、自然を守り育てようとする心情が高まってきた。
- ・児童は森の学習に意欲的に取り組み、主体的な学習態度や豊かな表現力が身についてきた。

■教職員への効果

- ・「生きる力を育む学びの場」として、各学年に応じた「わくわくの森」の教材化に意欲的に取り組むことができた。

■保護者・地域住民への効果

- ・保護者や学校支援ボランティア、おやじの会とともに「わくわくの森」(教育の森)を整備・改修することにより、地域の自然のすばらしさを再認識してもらえると共に、学校への理解も深めることができた。

保護者、地域との連携

- ・保護者や学校支援ボランティア、おやじの会等とともに「わくわくの森」の整備・改修をした。
- ・学校だより、学校のホームページを通して「わくわくの森」の活動を発信した。また、2月に「森のパフレット」を保護者や地域に配布した。



【タケノコ掘りのようす】

整備・活用・管理等の課題

- ・教育の森へ行く畑沢川沿いの道は、増水するたびに变化する。また、「わくわくの森」も草が伸びたり、枯れ枝が落ちたりする。そのため、絶えず整備・改修をしていかなければならない。保護者や学校支援ボランティア、おやじの会等により長く維持管理ができる体制作りを進める必要がある。
- ・今後も「生きる力を育む学びの場」として各学年に応じた教材開発を進めていく必要がある。

今後の展望

- ・春夏秋冬に自然観察会等を企画し、広く地域に開放する。
- ・近隣校の利用を促進する。
- ・活動の幅を広めるために「わくわくの森」の約半分を占める旧雑木林の整備を進める。

整備担当者(教員、児童、保護者等)から

保護者、学校支援ボランティア、おやじの会の協力により「わくわくの森」の整備を行った。枯れた竹や落ちた木の枝の片づけや自然の木を利用した遊具づくりなどほとんどが力のいる仕事だったが、進んで作業を行って下さった。お陰で児童は整備された森でのびのびと学習をすることができた。また、川を渡る橋や階段など「わくわくの森」への道も森林組合が整備し、安全に森への行き帰りができるようになった。今後も、地域の方々の協力を得ながら整備を進めるとともに、豊かな「わくわくの森」の自然を生かした教育活動を行っていききたい。



【児童による開校記念集会】